

図25

HIV以外の性感染症検査を行っているか

(2011年)

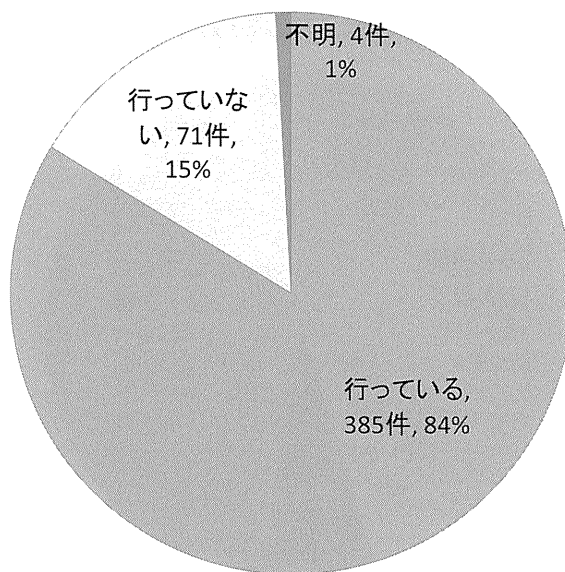


図26

HIV以外の性感染症検査を行っているか

(2011年)

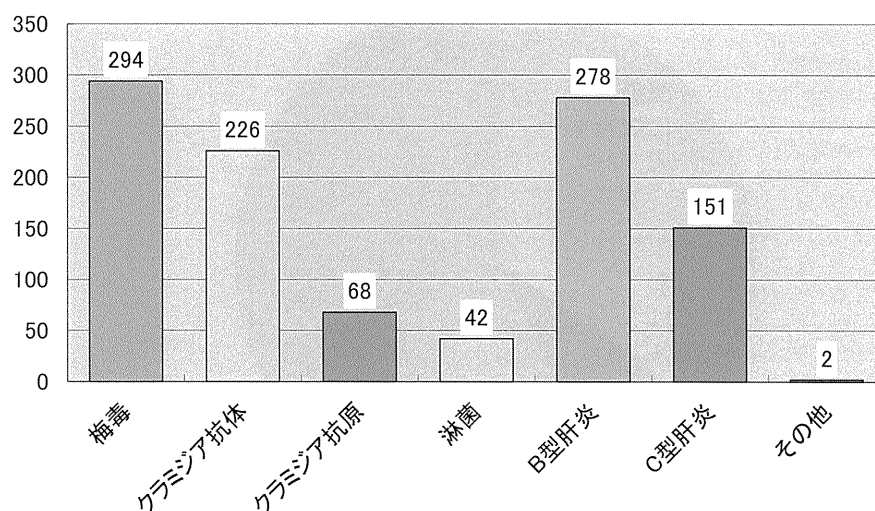


図27

確認検査で陽性の場合届出を行うか
(全保健所)

(2011年)

(n=460)

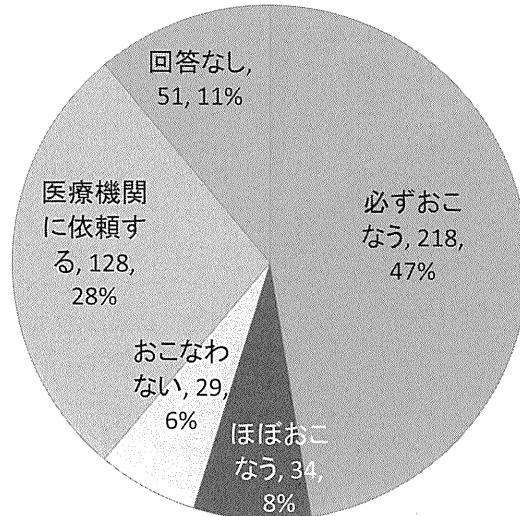
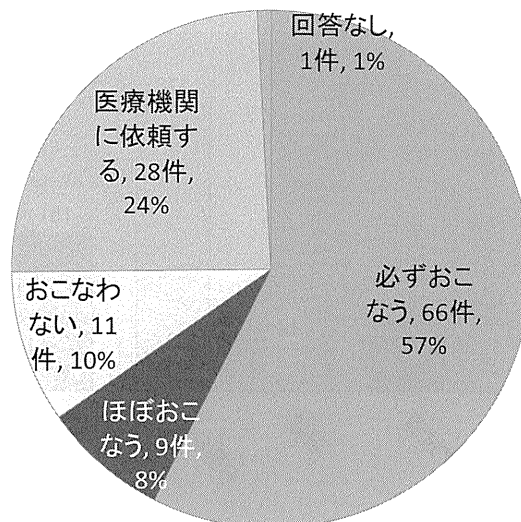


図28

確認検査で陽性の場合届出を行うか
(陽性経験数)

(2011年)

(n=115)



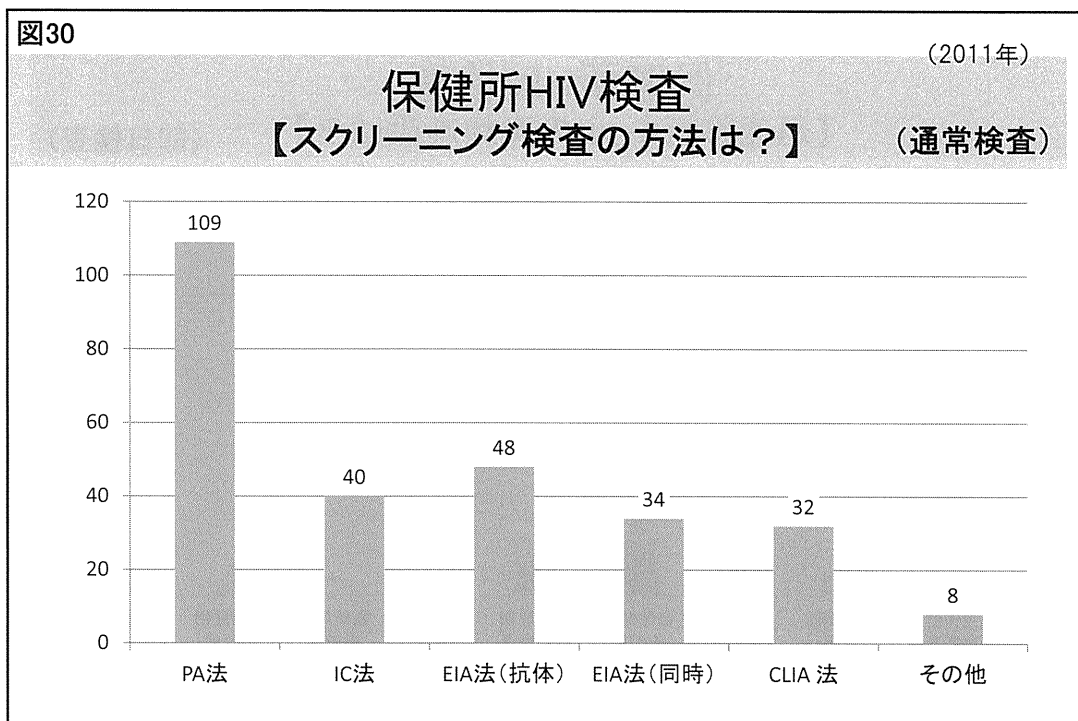
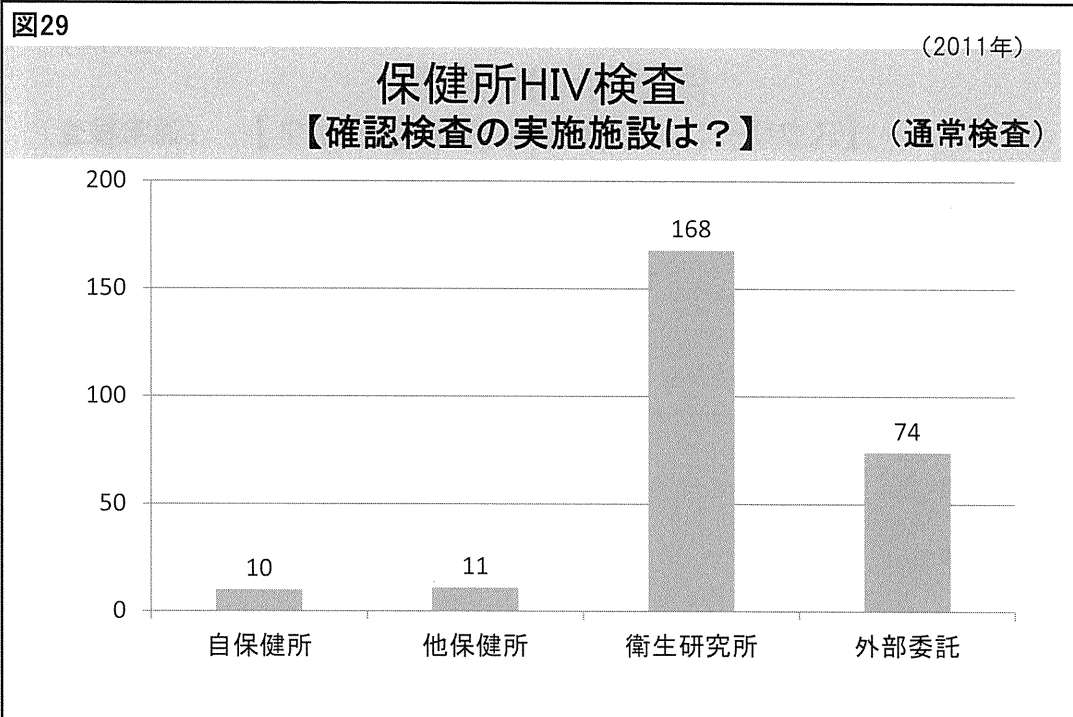


図31

(2011年)

保健所HIV検査
【スクリーニング検査の実施施設は？】 (通常検査)

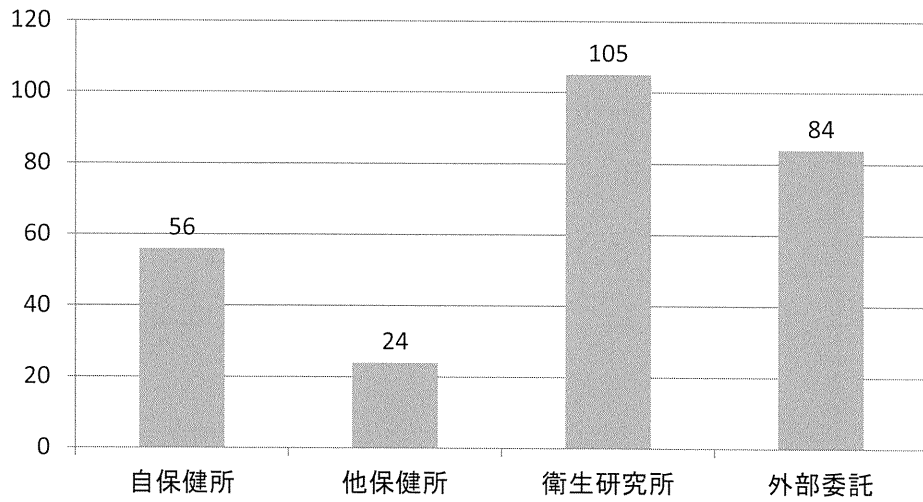


図32

(2011年)

保健所HIV検査
【迅速診断キットの実施施設は？】 (即日検査)

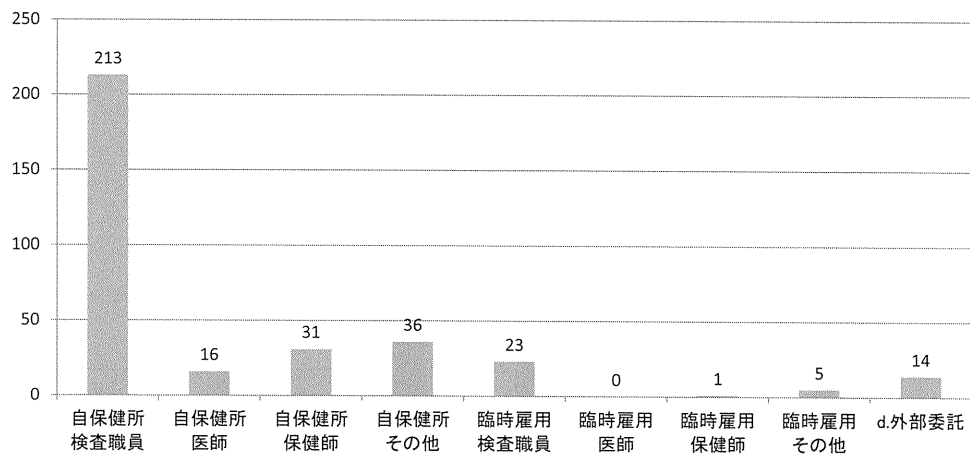


図33

(2011年)

保健所HIV検査 【確認検査の実施施設は？】 (即日検査)

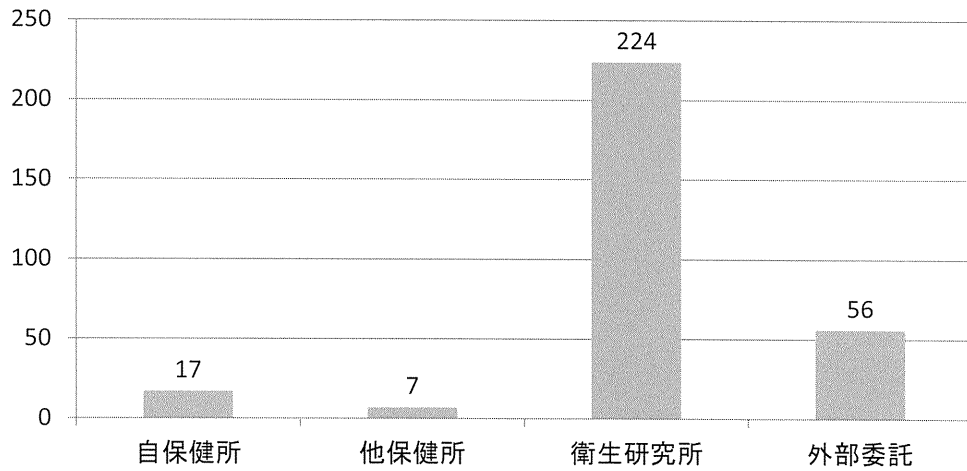


図34

(2011年)

プレカウンセリングを行っているか (通常検査)

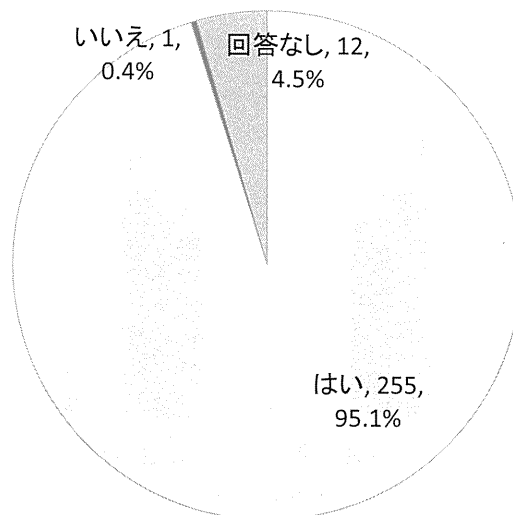


図35

プレカウンセリングを行っているか

(2011年)

(即日検査)

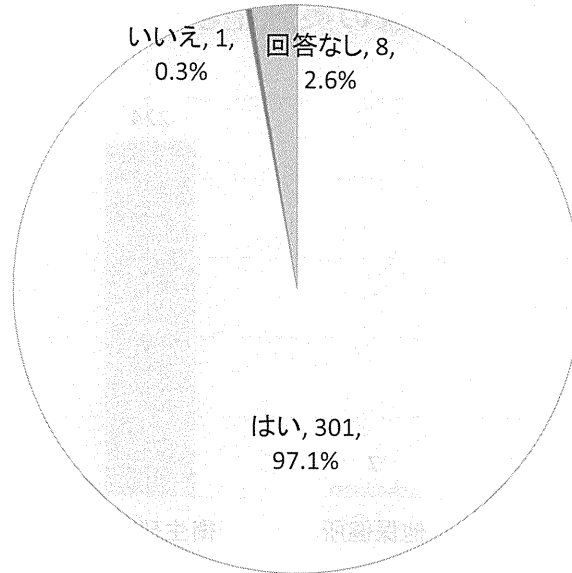
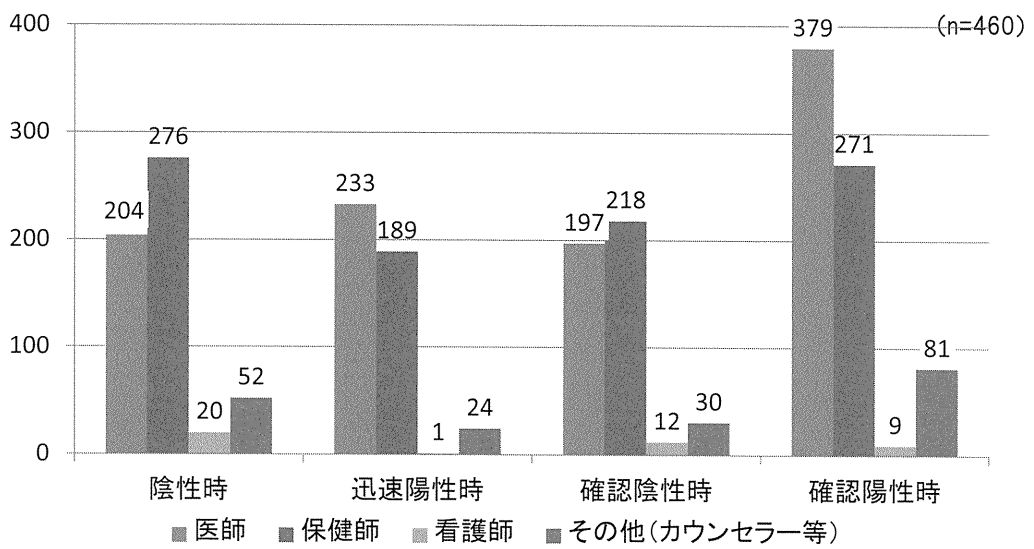


図36

結果説明時の担当者

(2011年)



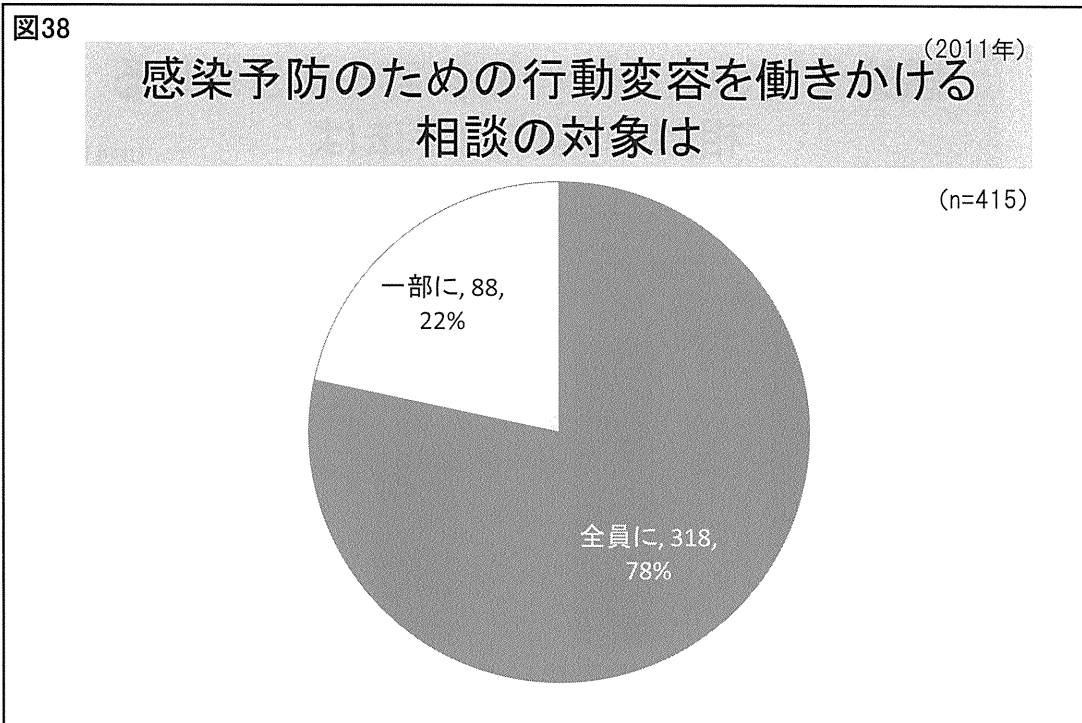
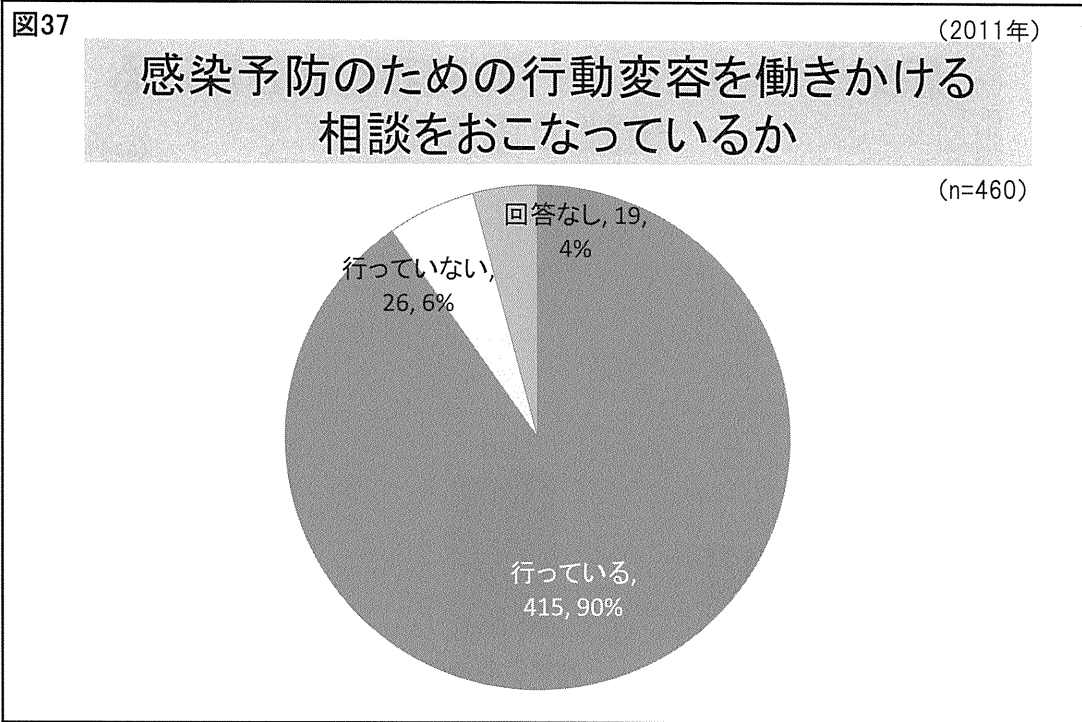


図39

(2011年)

感染予防のための行動変容を働きかける 相談の場面は

(n=415)

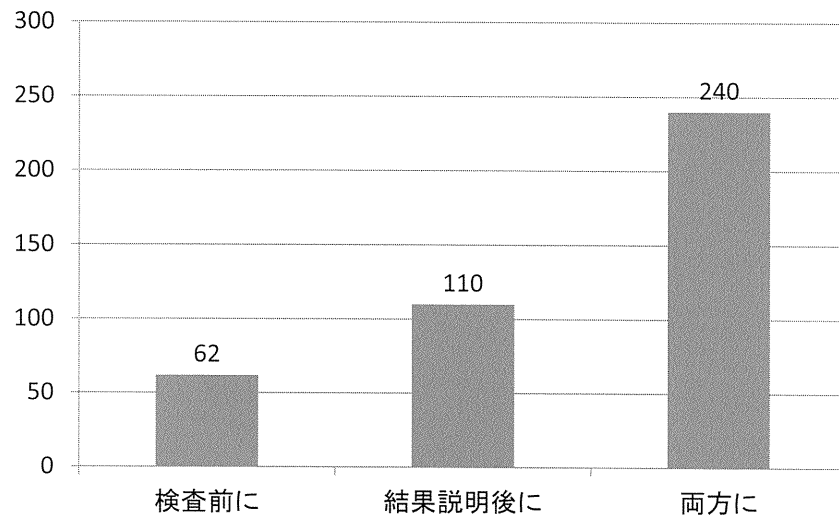
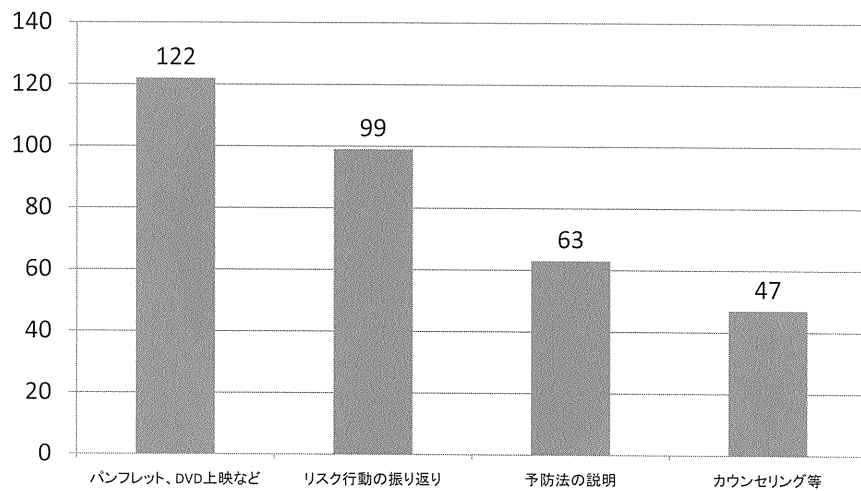


図40

(2011年)

感染予防のための行動変容を働きかける 相談の具体的手法は

(n=415)



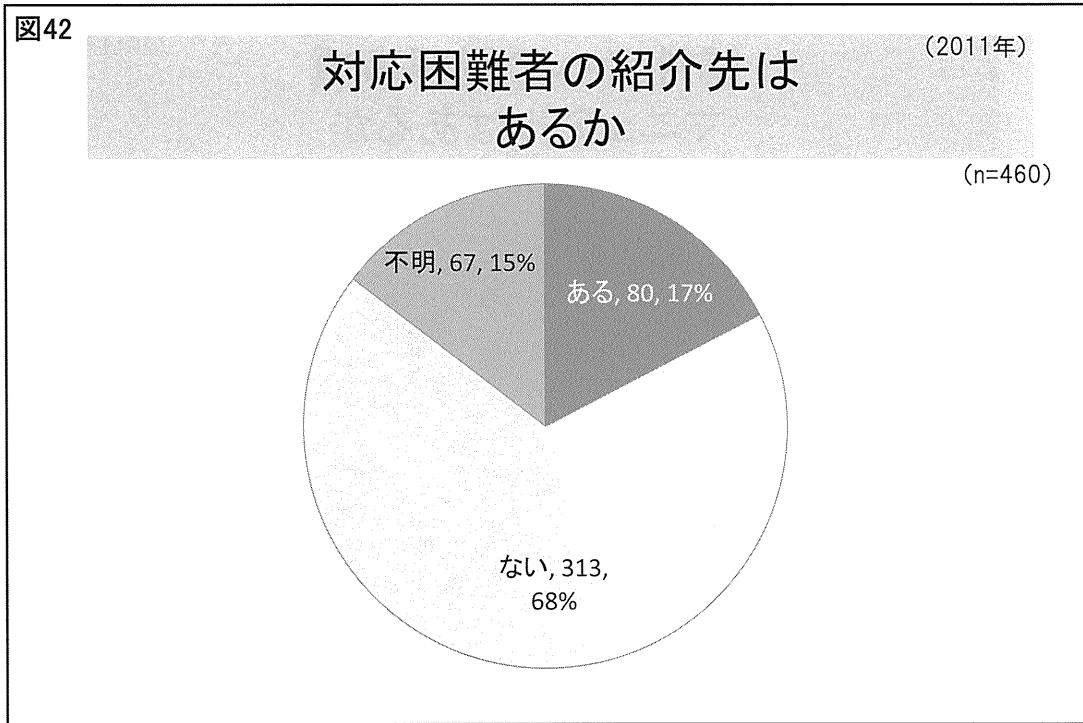
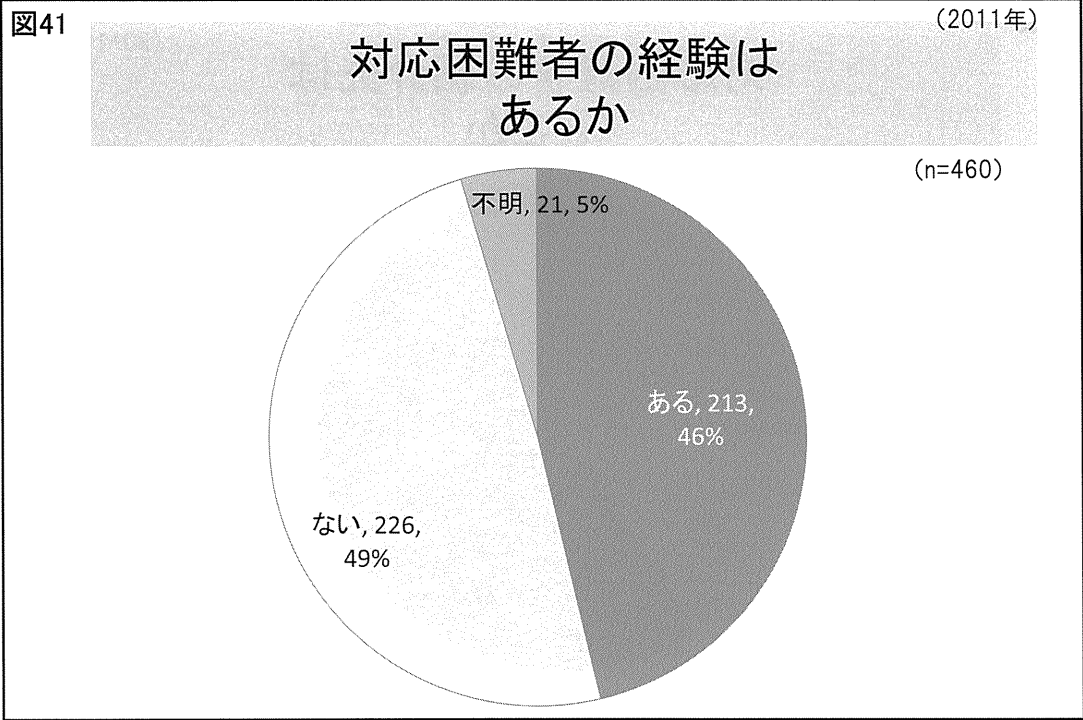


図43

対応困難者の紹介先は どこか

(2011年)

(n=80)

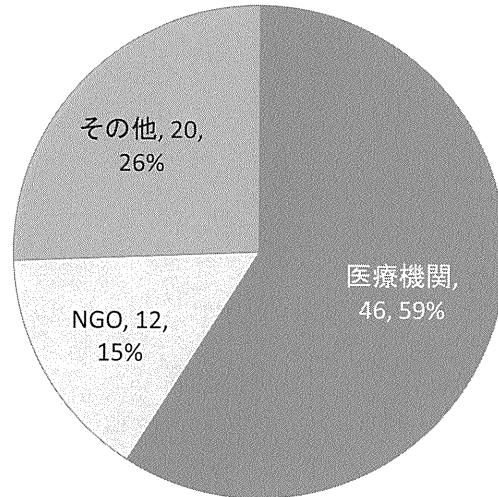


図44

陽性者への説明事項 マニュアルはあるか

(2011年)

(n=453)

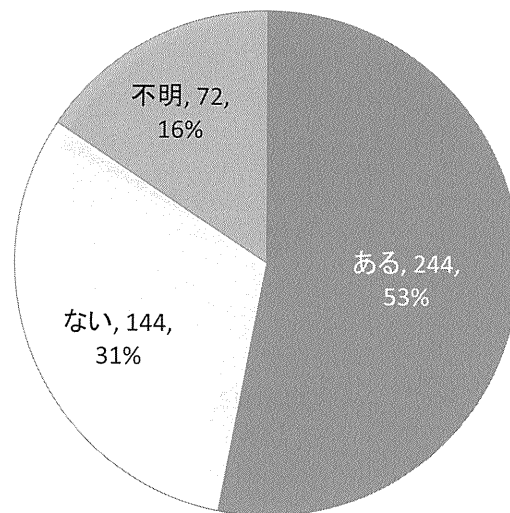


図45

陽性者への説明事項 説明資料はあるか

(2011年)

(n=453)

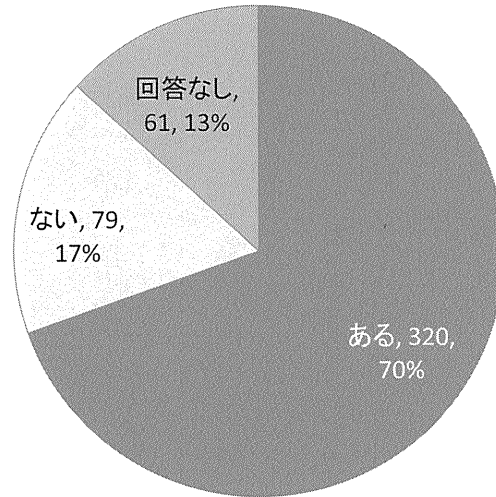


図46

陽性者への手渡し資料は あるか

(2011年)

(n=453)

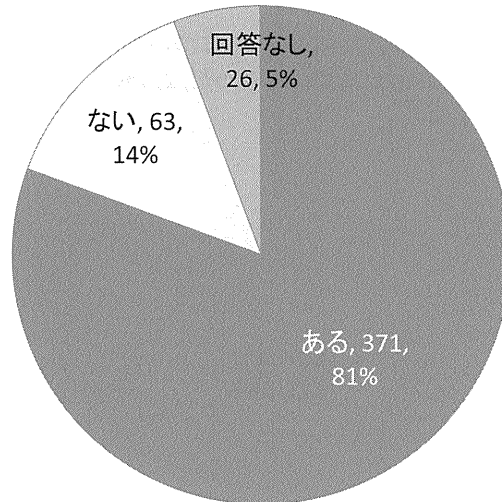


図47

未成年の検査希望者への 対応は

(2011年)

(n=453)

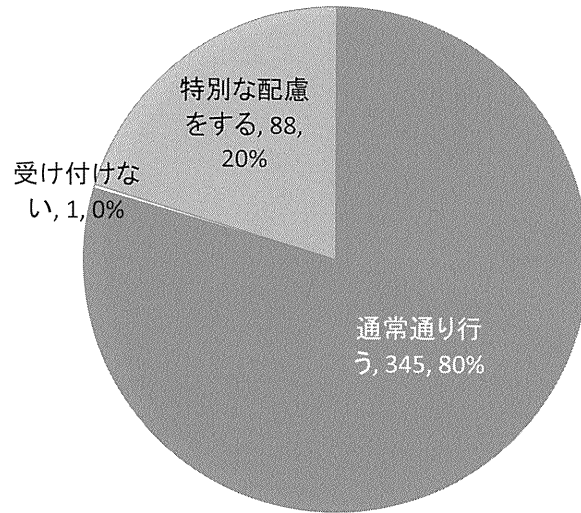
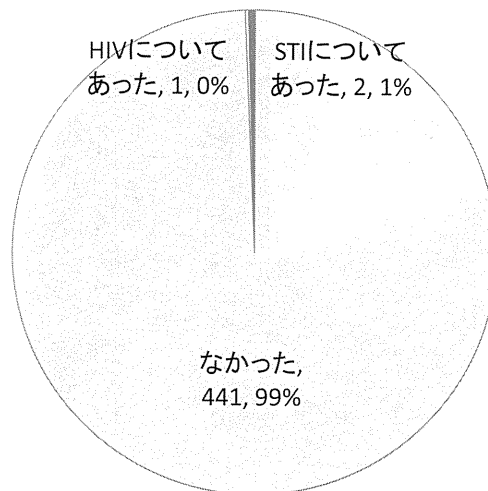


図48

検査結果について 誤通知があったか

(2011年)

(n=453)



保健所におけるHIV検査体制に関する全国調査の結果

①【保健所アンケート】						
	2009年(平成21年)		2010年(平成22年)		2011年(平成23年)	
アンケート送付数	565		586		560	
回答数	455	(80%)	488	(83%)	461	(82%)
HIV検査実施保健所数	454	(99.8%)	487	(99.8%)	460	(99.8%)
陽性結果のあった保健所数	112	(25%)	118	(24%)	115	(25%)
検査数	97,166	/	89,997	/	84,404	/
陽性件数	234	(0.24%)	241	(0.27%)	220	(0.26%)
陽性結果を伝えられた件数	223	(95%)	214	(89%)	206	(94%)
受診したことを把握できた件数	176	(75%)	176	(73%)	146	(67%)
動向調査の報告を行った感染者数	186	(80%)	191	(79%)	166	(76%)
陰性結果を伝えられた件数	94,770	(98%)	87,705	(98%)	82,702	(98%)

②【特設検査機関アンケート】						
	2009年(平成21年)		2010年(平成22年)		2011年(平成23年)	
アンケート送付数	17		19		19	
回答数	17	(100%)	19	(100%)	18	(95%)
陽性結果のあった検査機関	14	(82%)	16	(84%)	16	(89%)
検査数	23,702	/	22,894	/	26,207	/
陽性件数	142	(0.6%)	163	(0.70%)	167	(0.60%)
陽性結果を伝えられた件数	134	(94%)	158	(97%)	160	(96%)
受診したことを把握できた件数	102	(72%)	129	(79%)	137	(82%)
動向調査の報告を行った感染者数	119	(84%)	137	(84%)	145	(87%)
陰性結果を伝えられた件数	23,165	(98%)	22,262	(98%)	25,646	(98%)

③【HIV検査と同時に行っている性感染症検査】						
	2009年(平成21年)		2010年(平成22年)		2011年(平成23年)	
性感染症検査を行っている	353	(78%)	377	(77%)	385	(84%)
梅毒	294	(65%)	321	(66%)	294	(64%)
クラミジア抗体	234	(52%)	240	(49%)	226	(49%)
クラミジア抗原	64	(14%)	64	(13%)	68	(15%)
淋菌	37	(8%)	32	(7%)	42	(9%)
B型肝炎	119	(26%)	126	(26%)	278	(60%)
C型肝炎	110	(24%)	96	(20%)	151	(33%)
その他	10	(2%)	6	(1%)	2	(0%)

④【即日検査と通常検査】						
	2009年(平成21年)		2010年(平成22年)		2011年(平成23年)	
全体	454		487		460	
通常検査のみ	178	(39.2%)	179	(36.8%)	150	(32.6%)
即日検査のみ	163	(35.9%)	190	(39.0%)	185	(40.2%)
通常+即日	113	(24.9%)	118	(24.2%)	125	(27.2%)

⑤【検査の予約と上限の有無 (通常検査)】						
	2009年(平成21年)		2010年(平成22年)		2011年(平成23年)	
	291		297		268	
予約制である	147	(50.5%)	160	(53.9%)	161	(60.1%)
予約制ではない	144	(49.5%)	136	(45.8%)	105	(39.2%)
上限がある	88	(30.2%)	112	(37.7%)	111	(41.4%)
上限はない	196	(67.4%)	178	(59.9%)	153	(57.1%)

⑥【検査の予約と上限の有無 (即日検査)】						
	2009年(平成21年)		2010年(平成22年)		2011年(平成23年)	
	276		308		310	
予約制である	228	(82.6%)	255	(82.8%)	247	(79.7%)
予約制ではない	48	(17.4%)	52	(16.9%)	60	(19.4%)
上限がある	194	(70.3%)	226	(73.4%)	220	(71.0%)
上限はない	31	(11.2%)	78	(25.3%)	86	(27.7%)

⑦【平日、夜間、土曜・日曜】						
	2009年(平成21年)		2010年(平成22年)		2011年(平成23年)	
全体	454		487		460	
平日検査	259	(57.0%)	252	(51.7%)	231	(50.2%)
夜間検査	145	(31.9%)	170	(34.9%)	162	(35.2%)
土曜+日曜	50	(11.0%)	65	(13.3%)	67	(14.6%)

⑧【各種HIV検査の実施状況(保健所数の割合)】

	2009年(平成21年)		2010年(平成22年)		2011年(平成23年)	
全体	454		487		460	
通常のみ+平日昼のみ	139	(30.6%)	126	(25.9%)	110	(23.9%)
通常のみ+夜間も行っている	34	(7.5%)	50	(10.3%)	35	(7.6%)
通常+土日検査も	5	(1.1%)	3	(0.6%)	5	(1.1%)
即日のみ+平日昼のみ	92	(20.3%)	96	(19.7%)	85	(18.5%)
即日のみ+夜間も行っている	52	(11.5%)	64	(13.1%)	69	(15.0%)
即日+土日検査も	19	(4.2%)	30	(6.2%)	31	(6.7%)
通常+即日・平日昼のみ	28	(6.2%)	30	(6.2%)	36	(7.8%)
通常+即日・夜間も行っている	59	(13.0%)	56	(11.5%)	58	(12.6%)
通常+即日・土日検査も	26	(5.7%)	32	(6.6%)	31	(6.7%)

⑨【各種HIV検査の実施状況(受検者の割合)】

	2009年(平成21年)		2010年(平成22年)		2011年(平成23年)	
全体	97,166		89,997		84,404	
通常のみ+平日昼のみ	23,714	(24.4%)	16,991	(18.9%)	11,782	(14.0%)
通常のみ+夜間も行っている	7,056	(7.3%)	5,280	(5.9%)	3,497	(4.1%)
通常+土日検査も	2,097	(2.2%)	1,071	(1.2%)	1,533	(1.8%)
即日のみ+平日昼のみ	10,116	(10.4%)	9,321	(10.4%)	9,079	(10.8%)
即日のみ+夜間も行っている	11,049	(11.4%)	10,023	(11.1%)	10,458	(12.4%)
即日+土日検査も	5,593	(5.8%)	9,303	(10.3%)	11,511	(13.6%)
通常+即日・平日昼のみ	6,927	(7.1%)	8,103	(9.0%)	7,277	(8.6%)
通常+即日・夜間も行っている	15,779	(16.2%)	13,655	(15.2%)	12,812	(15.2%)
通常+即日・土日検査も	14,835	(15.3%)	16,250	(18.1%)	16,455	(19.5%)

⑩【各種HIV検査の実施状況(陽性者の割合)】

	2009年(平成21年)		2010年(平成22年)		2011年(平成23年)	
全体	234		241		220	
通常のみ+平日昼のみ	75	(32.1%)	67	(27.8%)	26	(11.8%)
通常のみ+夜間も行っている	20	(8.5%)	15	(6.2%)	7	(3.2%)
通常+土日検査も	6	(2.6%)	4	(1.7%)	3	(1.4%)
即日のみ+平日昼のみ	29	(12.4%)	27	(11.2%)	25	(11.4%)
即日のみ+夜間も行っている	19	(8.1%)	16	(6.6%)	26	(11.8%)
即日+土日検査も	11	(4.7%)	21	(8.7%)	38	(17.3%)
通常+即日・平日昼のみ	20	(8.5%)	20	(8.3%)	23	(10.5%)
通常+即日・夜間も行っている	27	(11.5%)	24	(10.0%)	28	(12.7%)
通常+即日・土日検査も	27	(11.5%)	47	(19.5%)	44	(20.0%)

⑪【一施設あたりの検査人数（陽性者数）】						
	2009年(平成21年)		2010年(平成22年)		2011年(平成23年)	
全体	97,166		89,997		82,927	
通常のみ+平日昼のみ	171	0.5人	135	0.5人	107	0.2人
通常のみ+夜間も行っている	208	0.6人	106	0.3人	100	0.2人
通常+土日検査も	419	1.2人	357	1.3人	307	0.6人
即日のみ+平日昼のみ	110	0.3人	97	0.3人	107	0.3人
即日のみ+夜間も行っている	212	0.4人	157	0.3人	152	0.4人
即日+土日検査も	294	0.6人	310	0.7人	371	1.2人
通常+即日・平日昼のみ	247	0.7人	270	0.7人	202	0.6人
通常+即日・夜間も行っている	267	0.5人	244	0.4人	221	0.5人
通常+即日・土日検査も	571	1.0人	508	1.5人	531	1.4人

⑫【年間検査件数別の保健所数】						
	2009年(平成21年)		2010年(平成22年)		2011年(平成23年)	
全体	454		487		460	
50未満	119	(26.2%)	171	(35.1%)	166	(36.1%)
55-99	83	(18.3%)	88	(18.1%)	79	(17.2%)
100-199	91	(20.0%)	87	(17.9%)	84	(18.3%)
200-499	104	(22.9%)	96	(19.7%)	94	(20.4%)
500-999	38	(8.4%)	30	(6.2%)	25	(5.4%)
1000以上	10	(2.2%)	12	(2.5%)	12	(2.6%)

⑬【年間検査件数別の検査数】						
	2009年(平成21年)		2010年(平成22年)		2011年(平成23年)	
全体	97,166		89,997		84,404	
50未満	2,801	(2.9%)	3,780	(4.2%)	3,819	(4.5%)
55-99	6,121	(6.3%)	6,534	(7.3%)	5,491	(6.5%)
100-199	13,373	(13.8%)	12,429	(13.8%)	12,152	(14.4%)
200-499	31,978	(32.9%)	28,822	(32.0%)	28,056	(33.2%)
500-999	26,122	(26.9%)	20,014	(22.2%)	17,386	(20.6%)
1000以上	16,771	(17.3%)	18,418	(20.5%)	17,500	(20.7%)

⑭【年間検査件数別の陽性率】						
	2009年(平成21年)		2010年(平成22年)		2011年(平成23年)	
全体	234		241		220	
50未満	2	(0.07%)	15	(0.40%)	6	(0.16%)
55-99	13	(0.21%)	9	(0.14%)	13	(0.24%)
100-199	23	(0.17%)	20	(0.16%)	33	(0.27%)
200-499	67	(0.21%)	62	(0.22%)	51	(0.18%)
500-999	63	(0.24%)	63	(0.31%)	64	(0.37%)
1000以上	64	(0.38%)	72	(0.39%)	53	(0.30%)

⑮【年間検査件数別の陽性経験数】						
	2009年(平成21年)		2010年(平成22年)		2011年(平成23年)	
	454		487		460	
全体	110	(24.2%)	118	(24.2%)	115	(25.0%)
50未満	2	(1.8%)	15	(12.7%)	6	(5.2%)
55-99	11	(10.0%)	9	(7.6%)	13	(11.3%)
100-199	20	(18.2%)	18	(15.3%)	25	(21.7%)
200-499	41	(37.3%)	47	(39.8%)	39	(33.9%)
500-999	26	(23.6%)	21	(17.8%)	21	(18.3%)
1000以上	10	(9.1%)	8	(6.8%)	11	(9.6%)

⑯【年間検査件数別の受診把握率】						
	2009年(平成21年)		2010年(平成22年)		2011年(平成23年)	
	234		241		220	
全体	171	(73.1%)	174	(72.2%)	146	(66.4%)
50未満	1	(50.0%)	12	(80.0%)	3	(50.0%)
55-99	6	(46.2%)	7	(77.8%)	11	(84.6%)
100-199	20	(87.0%)	15	(75.0%)	25	(75.8%)
200-499	52	(77.6%)	45	(72.6%)	40	(78.4%)
500-999	43	(68.3%)	53	(84.1%)	41	(64.1%)
1000以上	49	(76.6%)	42	(58.3%)	26	(49.1%)

2. 検査相談 研修ガイドラインの作成と普及について

～研修ガイドラインの作成・普及と講師養成に関する研究～

研究分担者	矢永由里子	(慶應義塾大学医学部)
研究協力者	今井敏幸	(公益財団法人エイズ予防財団〔当時〕)
	井村弘子	(沖縄国際大学総合文化部)
	江崎直樹	(陸上自衛隊久留米駐屯地)
	小日向弘雄	(多摩川病院)
	加藤朋子	(北海道大学病院)
	狩野千草	(新宿区牛込保健センター)
	紅林洋子	(沼津市立病院)
	源河いくみ	(東京ミッドタウンクリニック)
	小泉京子	(江戸川区健康部健康サービス課)
	阪木淳子	(国立病院機構九州医療センター 公益財団法人エイズ予防財団)
	高田知恵子	(秋田大学教育文化学部)
	岳中美江	(特定非営利活動法人チャーム 公益財団法人エイズ予防財団)
	塚田三夫	(栃木県北健康福祉センター)
	辻麻理子	(国立病院機構九州医療センター)
	渡久山朝裕	(沖縄県立看護大学看護学部)
	平塚信子	(公益財団法人エイズ予防財団)
	松岡亜由子	(国立病院機構名古屋医療センター)

研究要旨

本研究の最終目標は、全国各地で、検査相談の人材が育成され、相談時の対応の質が担保され、その対応によって受検者の検査相談の経験が益となることである。益とは、検査を通し、HIVの正しい知識を得ることができ、予防行動にも意識が及び、行動変容に繋がること、また陽性判明時は、結果の意味を正確に理解し、今後の生活の質を維持できるよう医療機関を受診し福祉サービスに繋がることを指している。

その目標に到達するために、研究目的に、検査相談の研修ガイドラインの完成、引き継ぎ、研修を確実に実施できる講師の養成、地域研修の実践を置いた。

この3年間の研究の主要4課題を以下に示す。

(1) 研修ガイドラインの完成

- ・基礎編（基本の項目の学習）、実践基礎編（検査相談の担当者初心者用）の次の段階である実践応用編の作成

(2) ガイドラインの検証

- ・ガイドラインを活用しての研修の検証

(3) 講師養成の実践と検証

- ・講師養成のためのグループワーク実施マニュアルの作成・検証と演習実施
- (4) 地域での研修実施とその検証、モデルの構築
- ・ブロックや自治体単位での地域研修の実施とその検証
- ・今後の研修実施のモデルの構築

この3年間で、課題(1)～(3)について、研究成果を検証しつつ進めてきた。ガイドラインの内容は検査相談担当者の育成に適切であるという検証結果を受け、講師養成については講師マニュアルの資料としての適正を確認することができた。本研究が最初に描いた研究計画は順調に進んだと判断できる。最終年度には、課題(4)の地域研修の実践とその検討について本格的な研究をスタートさせ、その結果と考察を行ったところである。今後はこの実践をより促進させ、最終的には、地域研修のあり方についての方針と具体的なアプローチを提示していきたい。

今年度は3部構成のガイドラインの内容の理解促進や広報と、研修時の活用資料の目的を兼ねて、基本編・実践基礎編の内容のダイジェスト版を作成した。

今後は、各地域での検査相談の研修推進と講師養成を対の組み合わせとして、人材育成と地域の連携のモデルの構築に努めたいと考えている。また、検査は地域の保健所と同時に医療機関で促進されているため、医療機関の担当者も含めた研修のあり方、その先の、医療と行政の連携に結びつくような研修についても、検討を加え、実践を展開していきたい。

A. 研究目的

本研究の最終目標は、全国各地で、検査相談の人材が育成され、相談時の対応の質が担保され、その対応によって受検者の検査相談の経験が益となることである。益とは、検査を通し、HIVの正しい知識を得ることができ、予防行動にも意識が及び、行動変容に繋がること、また陽性判明時は、結果の意味を正確に理解し、今後の生活の質を維持できるよう医療機関を受診し福祉サービスに繋がることを指している。

その目標に到達するために、研究目的に、検査相談の研修ガイドラインの完成、引き続き、その普及とガイドラインを活用し最終目標に近づくために、研修を確実に実施できる講師の養成、地域研修の実践を置いた。

研修ガイドラインの全容について：段階的な組み立て

受講生の理解が進みやすいように、また対象者も検査相談に関わる全ての人から、相談担当の初心者、経験者というように3段階に

分けたガイドライン構成になっている。図1はその段階を示している。

前回研究時に基本編と実践基礎編を作成し、本研究では、実践応用編の作成に当たった。

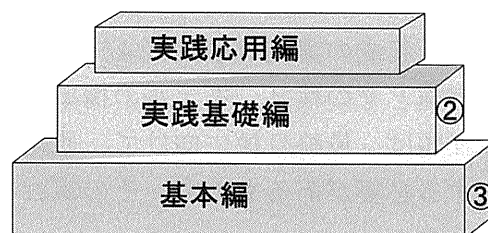


図1 研修ガイドラインの構成

各段階で取り上げる項目は、表1の通りである。

表1 研修プログラム

研修	研修プログラム
基本編	講義 1 「HIV 検査相談とは」 講義 2 「担当者の基本姿勢」 講義 3 「HIV 陽性者の支援制度と陽性者支援の視点を理解する」